

の主催者が公演費用を負担するため  
低料金で一流の舞台芸術が鑑賞でき  
るようになっていたこと。

(3) 今までの公演では、かつてなかつたテレビを利用してのPRに力を入れたため、県民に広く浸透が図られたこともあって、オペラ公演としては、約千四百名とまずまずの観客動員となり、関係者をほっとさせた。

#### 四、バレエ公演

○期日

十月三日(金) 郡山会場  
十月四日(土) 若松会場

○会場

郡山市民会館  
会津若松市民会館

○入場者数

約千八百人 (郡山会場)  
約千百人 (若松会場)

○演目

「白鳥の湖」チャイコフスキー

○演出振り付け

北原秀晃  
チャイコフスキー

○公演団体

記念東京バレエ団

○演奏

東京フィルハーモニー交響楽団

○指揮

遠山信二

○主な出演者

(配役) (郡山会場) (若松会場)  
オデット アベ・チエ 井上かほる  
オデイル アベ・チエ 桜井勢以子  
王 子 永田 幹文 夏山 周久



白鳥の湖 第1幕

道 化 北原秀晃 北原秀晃  
悪魔ロッドバルト 福山誠 福山誠  
王 妃 加茂律子 加茂律子  
家庭教師 高橋 勇 高橋 勇  
ほか ほか

○感想

チャイコフスキーは一生の間に三つの有名なバレエ作品を残した。それは、「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」であるが、その中でも特に音楽がわかりやすくしかも美しく、叙情的、幻想的な物語と舞台構成を持つ「白鳥の湖」が



郡山市民会館入場風景

世界中で一番愛されている。演出・振り付けの形も世界中でさまざまあるが、今回の上演は、モスクワのポリショイ劇場バレエ団のA・ゴールスキーの原形を踏襲したものによって公演された。キャストは、郡山会場が、プリマ・バレリーナに、海外公演でも絶賛を得ているアベ・チエが、会津若松会場は、ダブルキャストの関係で、井上かほるとなった。いずれにせよ優れた音楽性と演劇性を持つばかりでなく、ポーズの美しさでも定評のある主役であるため、両会場とも期待どおりのすばらしい熱演となり、観客を陶醉させるのに十分であった。作品がポピュラーなこと、演出・振り付けがよかったこと、更にキャストが豪華であったこととで前評判も非常に良く、両会場とも満席となった。特に会津若松会場



白鳥の湖 第4幕

では、公演一か月前にはチケットが売り切れるという状況であった。普通の催しものであれば、当日券は会場に行ってから手に入れることができるので、今回もそれを期待して来た市民が一枚もチケットがないため混乱する一幕もあり、関係者は入場を断わるのに、苦勞した。このことは、会津若松市では、このような本格的なバレエ公演は過去に一度もなく今回が初めてであり、市民の待ち望んでいた催しであったからである。

一方郡山会場にも、バレエファン層が厚く満員の盛況で、多大の感銘を与えた。